

令和7年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」（本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。）

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革（これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。）
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：令和7年12月実施、教職員：令和8年2月実施]	学校評価委員会からの意見																													
<p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校の生活指導は適切である。（高校 肯定率 77.6%。昨年度より 8.6%増。） ・ この学校では、他の人に知られたいくないプライバシー（個人情報）は守ってくれる。（高校 肯定率 88.3%。昨年度より 8.0%増。） ・ 私は予習・復習をして授業を受けている。（高校 肯定率 68.0%。前年度より 9.8%増。） ・ 私は、学校の図書室をよく利用している。（中学 肯定率 33.6%。前年度より 9.1%増。高校 20.7%。前年度より 3.3%増。） <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳やHRの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。（中学 肯定率 73.8%。昨年度より 8.2%減。） ・ 私は、学校の自習室をよく利用している。（中学 肯定率 24.4%。前年度より 7.3%減。） <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。（中学 肯定率 93.7%。前年度より 3.4%増。） ・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。（中学 肯定率 91.7%。前年度より 6.1%増。高校 肯定率 88.4%。前年度より 2.5%増。） <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、生徒の学習や進路に関する情報を適切に保護者に伝えている。（中学 肯定率 89.7%。前年度より 2.5%減。高校 肯定率 81.2%。昨年度より 3.1%減。） ・ この学校は、生活指導の方針をよく保護者に伝えている。（高校 肯定率 83.1%。昨年度より 3.6%減。） 	<p>令和8年5月2日に学校評価委員会を開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肯定評価</th> <th colspan="2">中学</th> <th colspan="2">高校</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>35項目</td> <td>27項目</td> <td>35項目</td> <td>26項目</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>3項目</td> <td>17項目</td> <td>8項目</td> <td>8項目</td> </tr> <tr> <td>昨年度より増加</td> <td>6項目</td> <td>13項目</td> <td>30項目</td> <td>6項目</td> </tr> <tr> <td>直近5年平均より増加</td> <td>16項目</td> <td>24項目</td> <td>30項目</td> <td>7項目</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学生徒は、多くの項目で前年度より肯定率が減少しているが、直近5年平均とはさほど変わらない。中学保護者はほぼ前年度並みだが、直近5年平均との比較では、ほとんどの項目で肯定率が増加している。高校生徒は、多くの項目で前年度・直近5年平均より肯定率が増加しているが、逆に高校保護者は、多くの項目で前年度・直近5年平均より肯定率が減少している。いずれにせよ、肯定率が90%以上の項目は少なく、まだまだ肯定率を得られるような取り組みが求められる。</p> <p>学校生活の充実の項目について、昨年度の中学は6年間で最高の肯定率だったが、今年度は1.1%減少した。逆に、高校は4.8%増加し、この6年間で最高の肯定率となった。</p> <p>中学生徒の「自習室をよく利用する」という項目の肯定率が減少し、「図書室をよく利用する」「読書の習慣がある」といった、読書に関する項目の肯定率が増加している。これは、昨年度から中学自習室がなくなったことと、朝に「読書の時間」を設けた中2の影響と考えられる。</p> <p>保護者の「学習時間が増えた」という項目の肯定率は、中高ともに過去5年間平均より減少している。一方で、生徒の「予習・復習する」という項目の肯定率は、中学では減少し、高校では増加している。中高とも、生徒に適切な負荷がかかっているか、点検が必要である。</p> <p>中学生徒の給食について、昨年度は、Classiで生徒に対するアンケートを実施し、「揚げパン」「ラーメン」「うどん」など、生徒の要望を取り入れたメニューを提供した。しかしながら、一昨年度に4.5%下がった肯定率は、昨年度はさらに3.0%減となった。クラスごとの肯定率は、最大で83.3%、最小で27.0%であり、クラスの雰囲気に大きく左右されるようだ。</p> <p>3年前からClassiのアンケート機能を活用することで、生徒・保護者とも大幅に回収率を改善できた。今回は中学・高校とも、生徒・保護者とも90%以上を目指したい。</p>	肯定評価	中学		高校		生徒	保護者	生徒	保護者		35項目	27項目	35項目	26項目	90%以上	3項目	17項目	8項目	8項目	昨年度より増加	6項目	13項目	30項目	6項目	直近5年平均より増加	16項目	24項目	30項目	7項目
肯定評価	中学		高校																											
	生徒	保護者	生徒	保護者																										
	35項目	27項目	35項目	26項目																										
90%以上	3項目	17項目	8項目	8項目																										
昨年度より増加	6項目	13項目	30項目	6項目																										
直近5年平均より増加	16項目	24項目	30項目	7項目																										

<p>【教職員】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、現在担当しているクラス、生徒の学習到達度にほぼ満足している。(肯定率 52.3%。前年度より 8.3%増。) 本校では、特別支援が必要な生徒あるいは不登校の生徒に対しては、その実情をつかみ必要な対応がなされている。(肯定率 84.9%。前年度より 9.9%増。) 本校では、必要な教育課程での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。(肯定率 72.1%。前年度より 9.0%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、生徒指導にあたっては、常に家庭と密接な連絡を取りその指導にあっている。(担任) (肯定率 86.3%。昨年度より 11.5%減。) 本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。(肯定率 57.0%。昨年度より 12.1%減。) 本校では、服装や頭髪指導を適切に行い、快適な学習環境と規律ある校風の確立に努めている。(肯定率 76.7%。前年度より 11.4%減。) 	<p>教職員については、41 項目中 23 項目で前年度より、30 項目で過去 5 年平均より、肯定率が増加した。</p> <p>生活指導に関する項目での肯定率が、前年度より大幅に減少している。特に、「生活指導方針を理解」「家庭との密接な連絡」の項目の肯定率が直近 6 年間の中で極めて低い。内訳を見ると、学年間での肯定率の差が大きく、特に「服装頭髪指導」の項目では、肯定率が 100%の学年がある一方で、38.5%という学年もあり、学年によらない生活指導ラインの統一が求められる。</p> <p>「特別支援への対応」の項目での肯定率が大幅に増加しており、特に中学で顕著である。個々の生徒に対してケース会議を開き、個人ではなくチームで対応する学年が増えてきていることが反映していると考えられる。</p> <p>部活動の態勢についての肯定率が、過去 5 年間平均より大幅に上昇した。これは、必要なクラブに対して外部指導員を導入したことが反映していると考えられる。</p>
---	--

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方針
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート)	ア 「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けた。また、予備校の教員研修プログラムにも参加を呼びかけるなど、教員の指導力向上の機会を設けた。	ア 中学 肯定率 89.9%で 未達成 。昨年度より 3.2%減。 高校 肯定率 93.1%で 達成 。昨年度より 2.6%増。	これまで以上に「一つの授業に必ず一つは山場を作る」を目標に教材研究を行うよう全教職員に意識付けを行う。
		イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」の肯定率 70%以上(生徒アンケート)	イ 生徒に学習記録を付けさせ、それを保護者・担任がチェックする取り組みを継続的に行った。	イ 中学 肯定率 56.3%で 未達成 。昨年度より 0.5%増。 高校 肯定率 68.0%で 未達成 。昨年度より 9.8%増。	生徒の予習や復習が不可欠な授業になっているかどうかの点検を行う。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「道徳やH.Rの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。」の肯定率 75%以上(生徒アンケート)	ア 進路講演会や、高1生対象に卒業生が大学・学部・研究内容を紹介する「開明大学」などのイベントを行った。また、HR・総合の時間などで「キャリア・パスポート」に取り組み、将来の進路や生き方について考えさせた。	ア 中学 肯定率 73.8%で 未達成 。昨年度より 8.2%減。 高校 肯定率 80.6%で 達成 。昨年度より 1.5%増。	これまでの取り組みを継続するとともに、「キャリア・パスポート」の取り組みをさらに充実させる。また、卒業生の経験談を聞く機会をさらに増やす。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」の肯定率 80%以上(教職員アンケート)	ア 年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いた。	ア 肯定率 69.8%で 未達成 。昨年度より 0.5%減。	研究授業に対して批判的な内容の意見が出しにくい会議の雰囲気があるため、議論が活発に行えるような工夫を検討する。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を学年主任・副主任に確認し、指導の統一性を図った。	ア 中学 肯定率 84.5%で 未達成 。昨年度より 4.4%減。 高校 肯定率 81.1%で 未達成 。昨年度より 1.4%増。	授業規律についての基本的な考え方を、さらに広い場面(職員会議など)を通じて全教職員に徹底する。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」の肯定率 90%以上(生徒アンケート)	ア 全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝えるよう努めた。	ア 中学 肯定率 90.2%で 達成 。昨年度より 0.8%減。 高校 肯定率 92.0%で 達成 。昨年度より 6.3%増。	「生活指導部だより」や全校朝礼などを通じて、校則を守ることを生徒に伝える機会をさらに増やす。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」の肯定率 85%以上(生徒アンケート)	ア 毎学期、いじめアンケートを実施し、いじめの把握に努めた。また、いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努めた。	ア 中学 肯定率 84.7%で 未達成 。昨年度より 1.7%減。 高校 肯定率 84.18%で 未達成 。昨年度より 5.1%増。	これまでの取り組みを継続しつつ、道徳の時間も利用して、いじめに対する理解を深めさせる(特に中学1年生)。

3 行事・クラブ活動	(1) 行事への積極的な参加	ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 85%以上 (生徒アンケート)	ア 中学体育大会の京セラドームでの実施、夜間歩行での保護者による豚汁炊き出しの復活、林間学校での岩菅山登山の復活などの改善を行った。	ア 中学 肯定率 88.1%で達成。昨年度より 0.8%減。 高校 肯定率 86.6%で達成。昨年度より 6.4%増。	それぞれの行事がただ「やるだけ」に終わらないよう、その行事の意義や獲得目標を明確にし、教員間で共有する。
	(2) クラブ活動への自由な参加	ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」の肯定率 80%以上 (生徒アンケート)	ア 本校独自の「クラブ活動基準」を守り、できるだけ活動ができるように工夫して取り組んだ。	ア 中学 肯定率 87.0%で達成。昨年度より 1.0%減。 高校 肯定率 87.2%で達成。昨年度より 0.5%増。	クラブ活動が生徒の負担にならないよう、本校独自の「クラブ活動基準」の徹底を図り、可能な限り活動を保障する。
4 施設・設備	(1) 新設備のフル活用	ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」の肯定率 90%以上 (保護者アンケート)	ア オンライン英会話のパソコン教室での実施、教室での電子黒板の日常的な利用など、新設備を活用した。	ア 中学 肯定率 92.9%で達成。昨年度より 0.3%増。 高校 肯定率 90.3%で達成。昨年度より 1.4%減。	校内Wi-Fiやタブレットの利用を促す。また、オンラインでの双方向授業が可能な環境を整備する。
		イ「この学校の給食は充実している」の肯定率 60%以上 (中学生徒アンケート)	イ 年1回、保護者対象の給食体験会を実施した。また、生徒や保護者の意見をよく聞き、給食業者とも相談して改善を図った。さらに、中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作った。	イ 中学 肯定率 55.3%で未達成。昨年度より 3.0%減。	中1の家庭科の時間で学校給食の意義について生徒に理解を促す機会を作るなど、今後もこれまでの取り組みを継続していく。